



編集

富山大学総務部総務課広報室 〒930-8555 富山市五福3190
tel.076-445-6027 fax.076-445-6033

4

2004
APRIL



●国立大学法人富山大学設置にあたり訓辞する瀧澤学長（4月1日）

●富山大学入学式（4月8日）



- 国立大学法人富山大学設置
- 平成16年度富山大学入学式を挙行
- 6名の方々に富山大学名誉教授称号記を授与



入学式の一コマ：平成16年4月

CONTENTS

1 国立大学法人富山大学役員等の紹介



3 学長告辞

平成16年度富山大学入学式を盛大に挙行

5 関係法令

6 諸会議



9 学事

6名の方々に富山大学名誉教授称号記を授与



10 学内諸報

とやまの未来を拓く科学技術講演会
島津製作所フェロー田中耕一氏が講演
海外渡航者



12 主要行事

国立大学法人富山大学がスタート

4月1日をもって国立大学法人富山大学が誕生しました。

— 国立大学法人富山大学の役員等について紹介します。 —

役員等



学 長
瀧 澤 弘



理事・副学長
(経営企画担当)
丹 羽 昇



理事・副学長
(教育・学生支援担当
兼 附属図書館長)
風 巻 紀 彦



理事・副学長
(学術研究・国際交流担当
兼 入試担当)
塩 澤 和 章



理事・副学長
(目標評価担当
兼 労務担当)
近 藤 昌 彦



副学長
(大学開放担当)
大 石 昂



副学長
(教養教育担当
兼 安全管理担当)
金 森 寛



監事
小 川 弘



監事 (非常勤)
武 暢 夫

経営協議会

現 職	氏 名
元富山国際大学長	石 坂 誠 一
放送大学学園理事長	井 上 孝 美
富山県副知事	大 永 尚 武
富山経済同友会代表幹事	中 尾 哲 雄
元北陸銀行取締役	平 能 富 太 郎
北陸経済連合会会長	山 田 圭 蔵
学 長	瀧 澤 弘
理 事	丹 羽 昇
理 事	風 巻 紀 彦
理 事	塩 澤 和 章
理 事	近 藤 昌 彦
事務局長	遠 藤 克 司

※学外委員は50音順で記載

教育研究評議会

現 職	氏 名
学 長	瀧 澤 弘
理事・副学長	丹 羽 昇
理事・副学長	風 巻 紀 彦
理事・副学長	塩 澤 和 章
理事・副学長	近 藤 昌 彦
副学長	大 石 昂
副学長	金 森 寛
人文学部長	山 口 幸 祐
教育学部長	山 西 潤 一
経済学部長	八 木 保 夫
理学部長	平 井 美 朗
工学部長	龍 山 智 榮
人文学部教授	山 本 孝 一
人文学部教授	吉 田 俊 則
教育学部教授	佐 藤 幸 男
教育学部教授	西 川 友 之
経済学部教授	竹 川 慎 吾
経済学部教授	三 浦 哲 男
理学部教授	山 田 恭 司
理学部教授	清 水 正 明
工学部教授	米 田 政 明
工学部教授	黒 田 重 靖



第1回経営協議会で挨拶する瀧澤学長

オブザーバー

監 事	小 川 弘
監 事	武 暢 夫
水素同位体科学 研究センター教授	渡 辺 國 昭

幹事

事務局長	遠 藤 克 司
------	---------

学長告辞

平成16年度富山大学入学式を盛大に挙行

— 学部学生1,577人、大学院生319人、計1,896人の入学を許可 —



告辞する学長

平成16年度富山大学入学式が、4月8日(木)午前10時30分から富山市芸術文化ホールにおいて挙行されました。

式に先立ち、富山大学合唱団による「富山大学歌」(森川勝彦作曲)及び「花」(瀧廉太郎作曲)の合唱があり、会場に和やかな雰囲気をもたらしました。

式では、理事及び関係部局長が列席する中、最初に瀧澤学長が、学部学生1,493人、3年次編入学生84人及び大学院生319人計1,896人に入学許可を宣言し、「世界の動きに対する的確な判断能力を身につけ、21世紀の人類の幸福のために貢献しうる人材となるよう、基礎を養っていただきたい」旨告辞しました。

これに対し、新入生を代表して工学部知能情報工学科の畔田翔太郎さんが「入学生一同は、在学中、学則を守り、自己の研鑽に努め、更なる未来への展望を広げるとともに、より一層の学識を深めるよう努力します。」と宣誓し、厳粛に式を終了しました。

また、式終了後には、富山大学ギターマンドリンクラブが「ルンバ」(Dieter Kreidler作曲)及び「オーバーザレインボウ(Over the rainbow)」(H.Arlen)の2曲、続いて富山大学フィルハーモニー管弦楽団が「威風堂々」(エルガー作曲)及び「ラデツキィー行進曲」(ヨハン・シュトラウス作曲)の2曲をそれぞれ演奏し、入学生を楽しませました。

なお、学部入学生に対しては、その後、学務部・保健管理センターオリエンテーション及び学生団体オリエンテーションが行われました。



宣誓する新入生代表

学長告辞 (全文)

富山大学のそれぞれの学部に入學された皆さん、3年次に編入學された皆さん、大学院研究科に進學された皆さん、おめでとうございます。

十数年前から大学新設が続き、一方では少子化で受験生が少なくなり、大学の門が広がったのは事実です。

しかし、ここにお集まりの皆さんの数倍もの受験生が富山大学で学びたいという希望を持ちながら機会を得られなかったことを思い、選ばれて富山大学の学生となった皆さんは、その事を自覚して勉学に励んでいただきたいと思います。国立大学は、この4月1日から国や文部科学省の行政から独立して運営する国立大学法人に

なりました。富山大学もその1つですが、国の予算によって運営される国立大学であることに変わりはありません。大学として社会的責任は以前に増して大きくなりますが、学問・研究の自由は勿論のこと、国立大学としての本来の姿が変わるものではありません。

また、富山大学は来年10月に富山県内の富山医科薬科大学・高岡短期大学と統合することが決まっています。

大学の統合は民間企業の合併と違って、3つの大学がひとつになるだけでは意味がなく、統合によってより研究体制を強め、学生の教育を充実し、また多くの社会的貢献ができる大学にならなければなりません。この立場から、私たちは精力的に新しい富山大学に生まれ変わるための協議を続けております。皆さんの在学中に新しい富山大学に変わりますが、しかし皆さんは現在の富山大学の教育課程で学び、現在の富山大学の卒業生となります。

ここで本日、入学して富山大学の学生となった皆さんに、是非理解していただきたいことを述べます。それは大学での勉学は、高校までの勉強とまったく異なるということです。皆さんは、幼稚園や保育所をはじめ小学校・中学校・高等学校を通じて、国が定めた教育課程を文部科学省が検定した教科書を使って、教員免許状を持った先生によって教育を受けて来たわけですが、大学には国が定めた指導要領はありませんし、また文部科学省が検定した教科書もありません。勿論、大学の教員には教員免許状というものはありません。これから皆さんの教育にあたる教員は、それぞれの分野で研究者としての研究業績に基づいて評価を受けた教員であり、どのような基礎的分野の授業を担当する教員も、まず研究者として活動する一方で、独自の考えに基づいて教科書などを選定し、原則として独自の考えに従って教育を行っています。

学生の立場も、高校までの生徒の立場とは全く違ってきます。大学での勉学は、自由と責任が基本です。大学の教員は、相談にくる学生には喜んで指導助言をおこないますが、しかし、自ら求めない学生には何も与えてくれません。学ぶも遊ぶもすべて自由です。当然のことですが、自由には責任が伴います。つまり自己責任の世界、これが皆さんが今まで過ごしてきた高校生活とは根本的に異なるところです。

もうひとつ是非理解して頂きたい重要なことがあります。それは、学部での専門分野の勉学と共に、人文・社会・自然科学や外国語・保健体育・情報科学・総合科目などの、いわゆる教養科目の勉学が必要だということです。高い専門知識や技術を持っていても、広い視野を持たない限り、社会の変動に対して批判する能力がなく、的確な対応ができません。富山大学ではこうした能力の養成を、全学の教員がそれぞれの専門分野の研究を生かして担当する教養教育によって実現を目指しています。富山大学が専門教育と共に教養教育を重視していることを理解して、皆さんは学生生活の中で専門分野の知識や技術を身につけると共に、世界の動きに対する判断能力を身に付けて、21世紀の人類の幸福のために貢献する基礎を養っていただきたいと思っています。

さて、学生の中には、大学の講義が面白くないという学生がいます。大学は面白さを提供する娯楽施設やレジャーランドではないことは勿論ですが、そもそも学問は、最初は面白いというより苦しい場合のほうが多いものです。努力を続けるうちに、やがてその学問の面白さや楽しさが分かってくるものです。皆さんは学生として社会に甘えてはならず、最初は苦しいかも知れませんが、勉学を続けて学問の楽しさを知り、やがて社会的責任を果たしうる人間に成長していただきたい。厳しく言えば、学生として勉学することが社会的責任であることを自覚していただきたいと思います。

今述べたことは、大学院に進学された方にはもう当然のこととしてお分かりのことだったでしょう。ここで大学院に進学した皆さんにお話したいことがあります。富山大学は、50年を越える歴史の中で、数多くの有能な人材を世に送り出してきました。なかでも、かなりの数の研究者を育ててきました。その数はこの規模の地方大学としては、全国に誇りうるものです。今も全国各地の大学や研究機関で、皆さんの先輩達が教育に、また研究に従事し、高い業績を上げています。富山大学はこうした研究者を育てうる実力を持った大学であることを理解し、誇りを持って研究に励んでください。

終わりに、本日富山大学の学生となった皆さんは勉学に励み、余暇には読書によって先人の残した文学や芸術に親しみ、またスポーツなどサークル活動にも青春の情熱をそそいで悔いのない学生生活を送ってください。

本日の入学を心からお祝いして、私の入学式の告辞といたします。

平成16年4月8日

富山大学長 瀧澤 弘

関係法令

(法律)

- 日本学術会議法の一部を改正する法律(29)(平16.4.14官報第3831号)

(政令)

- 行政機関職員定員令の一部を改正する政令(125)(平16.4.1官報号外第70号)
- 文部科学省独立行政法人評価委員会令の一部を改正する政令(127)(同)
- 文部科学組織令の一部を改正する政令(128)(同)
- 学校保健法施行令の一部を改正する政令(142)(同)
- 日本学術会議法施行令の一部を改正する政令(29)(平16.4.14官報第3831号)
- 日本学術会議会員候補者選考委員会令(162)(同)

(省令)

- 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律第32条の規定による立入検査等に関する省令(同87)(平16.4.1官報号外第69号)
- 文部科学省定員規則の一部を改正する省令(文部科学26)(平16.4.1官報号外第70号)
- 文部科学省組織規則の一部を改正する省令(同27)(同)
- 義務教育費国庫負担法第二条ただし書の規定に基づき教職員の給与及び報酬等に要する経費の国庫負担額の最高限度を定める政令施行規則(同28)(同)
- 教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令(文部科学29)(平16.4.7官報第3826号)
- 文部科学省所管補助金等の申請書等に係る電磁的記録及び電磁的方法を定める省令
(文部科学30)(平16.4.15官報第3832号)
- 教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令(文部科学31)(平16.4.30官報号外第92号)

(規則)

- 会計検査院事務総局事務分掌及び分課規則の一部を改正する規則(会計検査院1)
(平16.4.1官報号外第70号)
- 計算証明規則の一部を改正する規則(同2)(同)



諸会議

●役員会 [4月1日]

- (審議事項) (1) 富山大学学則等関係規則について
(2) 国立大学法人富山大学人事労務関係規則について
(3) 中期目標（原案）及び中期計画（案）について
(4) 業務方法書（案）について
(5) 会計監査人の選任について
(6) 会計規程（案）について
(7) 諸料金の設定について
(8) 監事監査規則（案）について

●教育研究評議会 [4月1日]

- (審議事項) (1) 国立大学法人富山大学教育研究評議会規則について

●教育研究評議会 [4月1日]

- (審議事項) (1) 富山大学学則等関係規則について
(2) 国立大学法人富山大学人事労務関係規則について
(3) 中期目標（原案）及び中期計画（案）について
(4) 教養教育の実施体制について

●新大学創設準備協議会 [4月9日]

- (審議事項) (1) 早急に検討すべき事項について

●経営協議会 [4月12日]

- (審議事項) (1) 富山大学学則等関係規則について
(2) 国立大学法人富山大学人事労務関係規則について
(3) 国立大学法人富山大学会計規程について
(4) 中期目標（原案）及び中期計画（案）について
(5) 業務方法書について

●役員会 [4月14日]

- (審議事項) (1) 全学委員会について
(2) 平成16年度非常勤講師手当について
(3) 新大学創設準備協議会委員について
(4) 経営協議会の総括について

●部局長等連絡会 [4月16日]

- (審議事項) (1) 当面する諸課題について

●**教育研究評議会 [4月16日]**

- (審議事項) (1) 学長選考会議委員の選出方法について
(2) 教員人事（個別事案）のプロセスについて

●**事務協議会 [4月20日]**

- (審議事項) (1) 当面する諸課題について

●**役員会 [4月26日]**

- (審議事項) (1) 平成16年度予算編成方針（案）及び学内予算配分（案）について
(2) 公開講座等の講師手当について
(3) 教員人事（個別事案）のプロセスについて
(4) 兼業の手続きについて
(5) 知的財産ポリシー（案）について

●**衛生委員会（五艘事業場） [4月26日]**

- (審議事項) (1) 委員会業務について
(2) 安全衛生監理体制について
(3) 今後の進め方について

●**学生生活委員会 [4月27日]**

- (審議事項) (1) 学生生活委員会規則の一部改正について
(2) 授業料免除及び徴収猶予に関する内規の一部改正について
(3) 平成16年度入学料免除者の選考について
(4) サークルヴィレッジについて
(5) 第49回大学祭について
(6) 休学者の退寮について

●**衛生委員会（五福事業場） [4月28日]**

- (審議事項) (1) 委員会業務について
(2) 安全衛生監理体制について
(3) 今後の進め方について

学内規則

新たに制定された学内規則は、事務局総務部総務課ホームページ（学内利用者専用）に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

「学内規則等改正通知一覧」

<http://www.intra.adm.toyama-u.ac.jp/soumu/somuka/kisoku/tophouki.html>

人事異動

教職員の人事異動については、事務局総務部人事労務課ホームページ（学内利用者専用）に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

「人事異動通報」

<http://www.intra.adm.toyama-u.ac.jp/soumu/jinji/index.html>

学 事

6名の方々に富山大学名誉教授称号記を授与

本年3月末をもって退官され、本学名誉教授の称号を授与することを決定されていた6名の方々に、4月20日(火)に瀧澤学長から称号記が授与されました。

新たに名誉教授となられた方は次のとおりです。



名誉教授称号記の授与

- 押田 雅次氏 (元教育学部 教授)
- 竹内 茂彌氏 (元教育学部 教授)
- 桂木 健次氏 (元経済学部 教授)
- 小松 和生氏 (元経済学部 教授)
- 廣岡 公夫氏 (元理学部 教授)
- 安田 祐介氏 (元理学部 教授)



新たに名誉教授となられた方々を囲んで

学内諸報

とやまの未来を拓く科学技術講演会 島津製作所フェロー田中耕一氏が講演

4月12日(月)に富山県が主催し、本学や富山医科薬科大学など県内4大学が共催する「とやまの未来を拓く科学技術講演会」が富山市国際会議場を会場として開催されました。

講演会では、2002年のノーベル化学賞を受賞した島津製作所フェロー田中耕一氏が、本学をはじめとする県内の理工系大学生や教員など約550人の聴衆を前に「質量分析に取り組んだ20年」と題して講演されました。

田中氏が県内で講演するのは今回初めてで、ノーベル賞を受賞した発見はさまざまな専門分野が融合したチームワークの成果であることを紹介し、異分野の融合が新技術につながり、地道に重ねる努力が独創を生むことを強調するとともに、「独創性を生むには自分で考え、体を動かしてほしい」と学生にメッセージを送られました。

田中氏のユーモアも交えた静かな中にも熱気のある話に聴衆は熱心に聞き入っていました。



講演する田中耕一氏



熱心に聞き入る聴衆

海外渡航者

渡航区分	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	極東地域研究センター	助教授	堀江 典生	ロシア	国際学術コンファレンスへの参加、研究発表	H16.4.14~ 4.19
	水素同位体科学研究センター	助教授	波多野雄治	アメリカ合衆国	REDOX制御されたFlibe中の低濃度トリチウムの化学状態に関する実験	H16.4.26~ 6.20
	工学部	助教授	石井 雅博	カナダ アメリカ合衆国	研究打ち合わせ及び視科学会出席・研究発表	H16.4.26~ 5.6
海外研修	工学部	教授	熊沢 英博	中国	河川浄化検討会に出席	H16.4.14~ 4.18
	理学部	助教授	張 勁	台湾	海底湧水に関する共同研究及び2004 IEEE International Symposium on Underwater Tecnology に参加	H16.4.20~ 4.24
	人文学部	教授	湯川 純幸	アメリカ合衆国	米国応用言語学会で発表	H16.4.30~ 5.5

4月主要行事

本部

4月 1日	第1回役員会 第1回教育研究評議会 第2回教育研究評議会 新大学創設富山大学準備委員会
2日	役員懇談会
5日	役員懇談会
8日	富山大学入学式（於：富山市芸術文化ホール） 新入生オリエンテーション（学務部）
9日	役員懇談会 新大学創設準備協議会
12日	第1回経営協議会 新大学・大学院部会大学院WG（医薬理工系）新大学院構想TF
13日	大学機関別認証評価に係るシンポジウム（於：一ツ橋ホール） 第1回センター等連絡会 双方向遠隔授業プロジェクトチーム会議
14日	役員会 電子メール講習会
16日	第1回部局長等連絡会 第3回教育研究評議会
17日	サテライト公開講座（於：CiCビル3F）
19日	役員懇談会 新大学・大学院部会大学院WG（医薬理工系）新大学院構想TF
20日	第1回事務協議会 名誉教授称号記授与式 労働基準監督署立入視察（安全衛生関係） 三大学生涯学習担当者会議（於：金沢大学サテライトプラザ）
21日	目標評価プロジェクト
22日	富山県インターンシップ推進協議会・運営委員会合同会議（於：富山市商工会議所） 平成16年度インターンシップ企業向け説明会（於：富山市商工会議所） 新大学・教養教育部会 北陸SCTサロン（於：金沢市）
23日	東海北陸地区職員採用試験実施委員会連絡会
26日	役員会 概算要求ヒアリング 衛生委員会（五艘事業場） 新大学・大学院部会大学院WG（医薬理工系）
27日	学生生活委員会 第1回労務WR
28日	衛生委員会（五福事業場） 生涯学習教育研究センター運営委員会

教養教育実施機構

4月 7日	学部新入生オリエンテーション（教養教育）
-------	----------------------

人文学部

4月 9日	大学院人文科学研究科小委員会 学部将来計画委員会 学部国際交流委員会
12日	学部教務委員会
14日	学部入学試験委員会 教授会
21日	学部将来計画委員会 学部情報処理委員会 学部入学試験委員会 学部予算委員会
22日	学部学生生活・就職指導委員会
28日	学部将来計画委員会 学部自己点検評価委員会 学部総務委員会

教育学部

4月 1日	学部学生生活委員会（持ち回り） 研究科委員会小委員会（持ち回り）
6日	学部教務委員会 附属小学校第1学期始業式 附属中学校第1学期始業式及び入学式
7日	学部新入生オリエンテーション（教養教育） 介護等体験オリエンテーション 学部予算委員会 学部防火対策委員会 学部学生生活委員会 附属小学校入学式
8日	大学院新入生オリエンテーション 附属幼稚園第1学期始業式 附属養護学校第1学期始業式
9日	学部新入生オリエンテーション（専門教育） 学部入学試験委員会 附属養護学校入学式
12日	授業開始 附属幼稚園入園式
14日	研究科委員会小委員会 研究科委員会 教授会 人事教授会 紀要編集委員会 学部広報委員会
17日	新入生合宿研修（～18日 於：国立立山少年自然の家）
21日	教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会

経済学部

4月 5日	学部国際交流委員会 学部教務委員会
6日	学部学生生活委員会 学部入学試験委員会 研究科委員会小委員会
7日	学科長会議
9日	生涯学習・広報委員会
13日	将来構想等検討委員会 就職指導委員会
14日	人事教授会 研究科委員会 教授会



理学部

19日	学部教務委員会
26日	情報処理委員会
28日	学部国際交流委員会
4月 2日	学部教務委員会
5日	大学院理工学研究科博士前期課程理学部会教育委員会
7日	学科長会議 大学院理工学研究科博士後期課程部会
8日	新入生保護者施設見学・懇談会
12日	学部入試委員会
14日	大学院理工学研究科博士前期課程理学部会 教授会 人事教授会
15日	新大学院構想検討WG（理工）
19日	学部排水安全専門委員会
21日	学部入試委員会 大学院理工学研究科博士後期課程部会
26日	学部学生生活委員会
28日	学部広報委員会 学科長会議
30日	新大学院構想素案作成WG（理工）



工学部

4月 5日	学部教務委員会
6日	学部運営委員会 工学部教育COEワーキング・グループ
7日	教授会 専任教授会 理工学研究科博士後期課程部会
8日	新入生保護者会「施設見学・懇談会」
14日	PE/FE特別講演会
15日	学部国際交流委員会 新大学院構想検討理工委員会
20日	学部教務委員会 学部運営委員会 学部将来計画委員会
21日	教授会 理工学研究科博士前期課程工学部会 理工学研究科博士後期課程部会
22日	学部電子広報委員会
27日	学部就職指導委員会



附属図書館

4月 22日	北信越地区図書館協議会（～23日 於：金沢）
--------	------------------------



保健管理センター

4月 8日	新入生オリエンテーション
-------	--------------



地域共同研究センター

4月 15日	MEX金沢（～17日） 第1回運営委員会（持ち回り）
27日	第2回運営委員会（持ち回り）

生涯学習教育研究センター

4月 1日 第1回運営委員会（持ち回り）
28日 第2回運営委員会

留学生センター

4月 9日 学部外国人新入生に対するオリエンテーション
12日 日本語課外補講オリエンテーション
13日 外国人留学生日本語研修コース開講式
16日 新規来日留学生に対するオリエンテーション

水素同位体科学研究センター

4月 30日 第1回運営委員会（持ち回り）
第1回専門委員会

機器分析センター

4月 22日 第1回運営委員会

極東地域研究センター

4月 15日 第1回運営委員会（持ち回り）

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

4月 15日 第1回VBL幹事会
28日 第1回運営委員会

極低温量子科学研究センター

4月 6日 第1回運営委員会（持ち回り）

放射性同位元素総合実験室

4月 7日 第1回運営委員会